

PRODUCT INFORMATION

MITAJIRI CHEMICAL INDUSTRY CO.,LTD

27-1 HAMAKATA OH-AZA HOFU CITY

YAMAGUCHI PREF. 747-0833 JAPAN

PHONE 0835-22-3311 FAX 0835-22-3575

三田尻化学工業株式会社

〒747-0833 山口県防府市大字浜方27-1

TEL 0835-22-3311

FAX 0835-22-3575

超音波探傷用接触媒質

ミタエコー

1. ミタエコーS、P、Aの特徴

- 中間工程検査での後処理が簡単になります。
- コラムなどの内ダイヤフラムの検査に最適です。
- 防錆効果があります。
- 工場がよごれません。
- UT探傷器の故障が低減します。
- コストダウンになります。



〈製品外観〉

※平成20年3月 UT検査規準が緩和され、75%以上グリセリン 以外の資材も使用可能になりました。

2. ミタエコーS、P、A各種媒質の比較(早見表)

接触媒質	乾燥性	塗装性	溶接性	防錆	たれ性	音速	コスト
ミタエコーS、P	◎	◎	◎	◎	△	△	◎
ミタエコーA	○	◎	◎	◎	○	○	○
グリセリン	×	×	×	×	×	◎	○
CMC	○	×	◎	×	◎	△	◎

3. ミタエコーS、P、Aの比較

基本的には保湿剤の含有量の違いです。

- ミタエコーS、P、Aタイプ共に乾燥して薄膜になります。
- ミタエコーS、P、Aタイプ共に乾燥するため溶接性及び塗装性に優れます。
- ミタエコーS、P、Aタイプ共に乾燥するため後処理が簡単です。
- ミタエコーSタイプとPタイプの違いは使用感が異なります。
- **ミタエコーSはある種のスパッタ防止剤との併用でゲル化することがあります。**
ワナーケミカル社製の防止剤をご使用の場合、ゲル化しないPタイプをお勧めします。
- ミタエコーAタイプはS、Pタイプに比べて乾燥しにくい。(5~6倍)
Aタイプの保湿剤配合割合はS、Pタイプの5倍です。
- ミタエコーAタイプはS、Pタイプに比べて音響効果が良い。
目安としてグリセリン100%を音響効果100とするとAタイプは81、S、Pタイプは66です。
- ミタエコーAタイプはS、Pタイプに比べて粘度が高いため、たれ性に優れます。
- ミタエコーAタイプはS、Pタイプに比べて凍結しにくい。
Aタイプは-20度まで、S、Pタイプは-2度までです。

4. 無償サンプルを御提供いたします。

- 採用の前には十分評価テストの上、ご使用ください。

製造元

三田尻化学工業株式会社

〒747-0833 山口県防府市大字浜方27番地の1

担当: 開発営業部 山田、中村

TEL 0835(22)3311 FAX 0835(22)3575

URL <http://www.mitajiri.co.jp>